

みんなの健康ラジオ

『脱毛症～円形脱毛症を中心に～』

(2022年6月16日放送)

横浜市皮膚科医会

おのだ皮膚科

小野田 雅仁

日本皮膚科学会のガイドラインで行うように勧められている治療法

ステロイド局所注射

- ・範囲が狭く、症状が固定したものがよい適応。
- ・比較的早く効果を認める場合が多い。
- ・小児には、原則使用しない。

ステロイド外用薬

- ・年齢や範囲を問わず、自宅で使用できる。
- ・塗布部位ににきびができることがある。

局所免疫療法（SADBE療法、かぶれの治療）

- ・squaric acid dibutylester (SADBE) という頭皮をかぶれさせる物質を、1～2週間毎に患部に塗布する。
- ・塗った日から、「2-3日程度」「日常生活に支障がない程度」のかぶれを起こす。（当初は、薄い濃さのものから、少しずつ濃度を上げていく）
- ・経過が長く、範囲の広い症例がよい適応。